

ニュース・レター

NO6
2009年10月号

おやじ日本

おやじ日本は前進する

おやじ日本理事長 竹花 豊



今年に入ってからのおやじ日本は、大きな飛躍を遂げました。2月はNPO法人となり、6月にはそれを記念する全国大会を開催しました。

これらの準備は簡単ではありませんでしたが、正会員の皆さんのご努力と何よりも関係の方々の大きなご支援があったればこそ、実現したもののと思っており、ここに改めて心から御礼申しあげます。とりわけ大会の実施にあたり、資金面での多大なご支援をいただいた企業や個人の方々はもちろん、講演者やパネリストの方々の多忙極まりない中でのご参加に感謝申しあげます。さて、その大会ですが、大きな会場にどれだけ来ていただけるか、途中でお帰りになる方が続出しないか、スムーズな運営ができるかななど心配は尽きませんでしたが、800名を超える参加者を得て、予定通りの3時間を終えたときには心底ほっとしました。お帰りになる方の中に、「あつという間の3時間だったな。」とか、「帰りの飛行機の時間を延期して参加してよかったです。」などという声を聞き、ようやく達成感を感じました。おそらく大会を準備してきた方々も同じ思いだったのではと思います。

その内容が、NHKの全国ニュースに早速流れ、また、読売新聞にも大きく報道されたのも嬉しく思いました。読売新聞は、大会前からおやじの問題を取り上げ、大会成功的エールを送っていましたが、大会の1週間後に、一面を費やしてパネルの概要を「おやじに背中はもう古い」との見出しで発信していただいたことには、こちらが恐縮する想いでした。

今回のニュースレターは、その大会のエキスをお伝えしますが、皆さんのが家庭や地域、あるいは勤め先で、日本では語られることが少なかった父親の役割について、話題を提供することにご利用いただければと考えています。

ところで、昨今の政治、経済の混乱は、社会全体の行き詰まりを示すものもあります。この局面を開拓して、新しい、社会を作り上げていくことはとても難しく、誰かにゆだねているだけでは成し遂げられないことは確かだと思います。私たち一人一人がそれぞれできることを微力でもよいからやっていく、その総和が社会を変えるエネルギーになると思います。「たとえ小さな力でも ありがとうの言葉なくとも 何かができる 何かがしたい だから私は町に出る」という歌の文句(私が作詞にかかわったボランティア賛歌の一部)は、私の信条です。おやじ日本の力は大きくはなくまた、目に見えないかもしれないが、社会を作る一翼を担うものだと思っています。

これからも着実に前進したいと正会員は考え、声をかけ続けています。皆さん方と今後も力を合わせていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

平成21年度通常総会、無事終了

6月27日(土)、特定非営利活動法人おやじ日本の平成21年度通常総会が開催され、平成20年度の事業報告、収支決算、監査報告、平成21年度の事業計画、予算、理事・監事の選出、法人設立記念大会事業報告、財政検討委員会の設置などについて審議が行われ、全ての事項が承認されました。

又、終了後には懇親会で、会員相互の親睦を図り、今後も力を合わせておやじ日本の発展に力を尽くしていくことを誓いました。

今年度の理事、監事、正会員の名簿は12ページに掲載しましたので、ご確認下さい。



6月27日 総会後の懇親会で、理事と正会員の皆さん

世界のおやじと日本のおやじが、熱く語り合った！

2009年6月7日（日） 特定非営利活動法人おやじ日本設立記念大会 開催

約800名の参加者を集めて盛大に行われた記念大会の様子は、NHKテレビ、読売新聞、ウェブサイト等で詳しく報道されました。新聞記事等のコピーは7月に皆様のお手元にお届けましたが、今回改めて5~8ページに掲載いたしましたのでご覧下さい。基調講演やシンポジウムの内容につきましてはすでにご承知のことと思います。

今号では、ご協力いただいた大勢の皆様へのこころからの感謝をこめて、大成功だった記念大会の様子を、写真を中心に紹介します。



←会場となった渋谷C. C. LEMONホール。スタッフは、朝9時頃から準備を開始しました。

開演前の控え室。竹花理事長を中心パネラーの皆さんたちが、事前打合せ中です。↓



渋谷駅から会場まで、道案にご協力いただいたのは、NPO法人日本ガーディアン・エンジェルスの皆さんです。終日ありがとうございました。↓



受付開始と同時に、全国各地より、たくさんの方々が入場され、スタッフはホッとしてました。→



最初に、二村好彦大会実行委員長が開会の挨拶↓



←
アトラクションでは、大江戸ダンスNPO法人のご協力により「柴又かっちはねえ」、sダンススケッチの皆さん、「東京ラブソディ2000」と「江戸しぐさ・仰げば尊し」の2曲を披露しました。



幕開けは、竹花理事長と総合司会の堀尾さんとのオープニングトーク。軽妙なやり取りで参加者の笑いを誘い、大会への期待を膨らませました。



鈴木光司さんは「長女・次女を保育中の10年間に、作家デビューし、ベストセラー作家となつた。子育ては、仕事を邪魔するものではなく、小説をレベルアップし、自分を成長させた」と語りました。↓



↑ 竹花理事長はコーディネーターとしてパネルディスカッションを盛り上げました。



↑ ジミー佐古田さんは、ご夫妻で登場。4人のお子さんのいる暖かい家庭の様子は、映像でも流されました。



↑ ジョン・ギャスライトさんはツリークライミング(木登り)ジャパンの活動を映像で紹介。父親を正面教師とした自身の子育てについても熱く語りました。



堀尾正明さんはパネラーとしても登場。笑いと会話のある家庭を目指しているがなかなか難しいと明るく語りました。

吳念聖さんは、3月に行われた「意見交換会」に引き続いてのパネラー。日本の父親に対し、もっと自然体で子育てに係わろうと呼びかけました。 →



最後に、正会員が舞台に並び、客席の参加者と一体になって「エイ、エイ、オー！」とこぶしを高くふりあげました。「おやじ、がんばるぞ！」「まだまだがんばるぞ！」の強い思いは、会場一杯に響きわたり、大会は盛会のうちに、幕をおろしました。 →

日本も変わり始めている！

特定非営利活動法人おやじ日本記念大会では、基調講演とシンポジウムの間に、世界各国と日本のおやじからのメッセージを映像で流しましたが、映像の最後に登場したおやじ日本会員坪田知広さんのメッセージを、ここで改めて紹介します。



坪田知広さん

坪田知広です。39歳です。文部科学省に務めています。おやじ日本正会員でもあります。私は、平成16年に3ヶ月間、育児休暇をとりました。これは、文部科学省で初めてのことだったということです。

私が育休をとったのは、父親もしっかりと子育てに係わるべきだという意気込みと、そして働く妻をしっかりと支えたいという想いからでした。

私が育休をとった後、職場では続々と後輩たちが育休をとり、そして、いろんな社会活動に参加しています。

このように、若い親たちを中心に、日本も変わり始めていると思います。

文科省にもおやじの会！ サマーセミナーを開催 →→ 坪田知広さんからの報告です



子育てる意義や職場環境の改善策について懇談し、会場とも交流した。

文科省でも子育て世代の父親の多くが周囲の意識や長時間労働の現実と「仕事と生活の調和」に悩んでおり、今回のセミナーを受講した職員からは、「子育てを楽しむともつたいない」とわかった、「自らが実践することで周りを変えられる」との声が聞かれた。最後に板東久美子副代表(生涯学習政策局長)が講師へのお礼と閉会の挨拶を述べた。

読売新聞で大きく報道！

今回の特定非営利活動法人おやじ日本設立記念大会は、読売新聞やNHK、インターネットサイト「あらたにす」で報道され、大きな反響を呼びました。特に読売新聞では、「おやじの力」というシリーズとして取り上げていただき、多くの方が、改めて「おやじの力」を考えるきっかけとなりました。

- ・平成21年5月25日 読売新聞朝刊「おやじの力 上」
- ・平成21年5月27日 読売新聞朝刊「おやじの力 中」
- ・平成21年5月28日 読売新聞朝刊「おやじの力 下」
- ・平成21年6月2日 読売新聞朝刊「おやじの力」
 基調講演の二人に聞く
- ・平成21年6月8日 読売新聞朝刊「子育て巡っておやじ
 討論NPO法人おやじ日本記念大会」
- ・平成21年6月13日 読売新聞朝刊(全面特集記事)
 「NPO法人おやじ日本記念大会」

詳細については5~8ページをご覧ください。

記念誌発行を発行しました

記念大会で配布
しました。

- ～～目 次～～
- ・なぜ今父親か
 - ・連続アスリート対談
 - ・私が選んだ子育て論
 - ・世界のおやじから
 - ・「世界のおやじ、日本のお
 やじ意見交換会」より
 - ・世界のおやじにインタビ
 ュー(ビデオレターより)
 - ・日本のおやじから
 - ・おやじ日本のあゆみ
 - ・理事・正会員名簿
 - ・元おやじ日本副会長
 安藤政義さんを偲んで



特定期刊
発行
記念誌
おやじ日本
発足から5年を経て・法人設立

ご希望の方は事務局
までご連絡ください。

デビット・ゾペティさん

作家。スイス生まれ。デビュー作「いちげんさん」で1996年、すばる文学賞。日本のテレビ局社員時代、育児休暇を取得した経験から育児参加の講演活動でも活躍。47歳。



1960年代にスイスで生まれた我々の世代は、「父親不在」の少年時代を過ごしている。父親は外に働きに出て、母親が家事に専念するという価値観が当たり前。銀行員だった父も例外ではなかった。

だから子供ができたら、自分のように寂しい思いはさせないと決めていた。子供から「不在」ではなく、「有在判決」を下される父親になろうと。長女が生まれた時、多忙な職場にいながら育児休暇を取得したのも、そのためだった。

とはいえる子育ては楽しいことばかりではない。長女が中学生になった今も受験や部活のこと、携帯電話の使い過ぎなど目を配らなければいけないことが多く。でも、それも子育ての醍醐味。間もなくやってくる反抗期も決して嫌ではない。我が家が子供でいる特別な時間は人生の中でもわずかな間。一緒に過ごせるすべての瞬間を、日本の父親も大切にかみしめてほしい。



鈴木光司さん

作家。代表作「リング」「らせん」はホラーブームの火付け役に。2人の娘の育児経験にもとづいた著書も多数。「文壇最強の子育てパパ」を自称する。52歳。

欧米に講演に行くと、必ずと言っていいほど、「リング」はいつ書いたのかという質問を受ける。真っ昼間、泣きわめく1歳の長女をあやしながら書き上げたと説明すると、とても驚かれるのだが、それ以上に日本人の私が昼間から子育てをしていたことに驚く人が多い。欧米では、日本の父親は子育てに参加しないというイメージが強いようだ。

私が育児にかかわり始めた頃に比べ、だいぶ変わってきたが、日本のお父さんが心から子育てを楽しんでいるかといえば、そうは思えないところがある。「子育てって、こんなに楽しいんだ」と、おおっぴらに言えないムードがあると言った方がいいかもしれない。

私は、このムードをぶち壊したい。それが子育ての楽しさを知る者の責任だと考えている。男同士で「子育てって最高」と、気兼ねなく言い合える時代が来ることを切に願っている。

基調講演

仕事多忙でも育児休暇取得

子育てしながら「リング」執筆

よ」なんて消極的なことばかり。母は逆に、「男つていうのは一発勝負。外に出て大きな獲物を持って帰ってくるものなんだよ」とか勇ましいことをばかり言つてました。本来、父から学ぶべきことを母から学んだのかな。竹花さん 外国の方々は日本の父親を率直にどのように見ていて?

吳さん 一般的にコミュニケーションが下手ですね。子供に物事を論理的に説明することが得意でないのかも。それに少し構え過ぎですよ。「おやじが立ち上がって子育てにかかるわう」なんていう考え方そもそも堅苦しい。もと肩の力を抜くべきです。

「背中見て」

「おやじ日本」設立5年の歩み

2004年6月	東京・杉並や世田谷の「おやじの会」を中心に「おやじ日本」が発足
06年4月	朝8時と夕方3時の登下校見守り運動「83運動」をスタート。全国展開のコンビニなども参加する大きな動きに
6月	横浜市で全国大会を開催。同市の「おやじの会」などが「おやじ神奈川」を設立
07年3月	子供を巡る携帯、インターネット問題に関する啓発運動「IS運動」を本格化。全国の「おやじの会」に講師を派遣する活動もスタート
6月	千葉市で全国大会を開催。「千葉おやじネットワーク」が設立
08年6月	さいたま市で全国大会を開催。「埼玉おやじネットワーク」が設立
12月	米国、カナダなど海外の父親を招いた意見交換会を初めて開催
09年2月	NPO法人「おやじ日本」に組織変更
6月	NPO化と設立5年を記念する全国大会



熱心に耳を傾ける聴衆

佐古田さん みなさんは、安全だと思われていた日本で、子供の重大犯罪が増えていることをどう思いますか。学校の責任ですか。それとも地域の責任ですか。やはり、その責任から親が逃げることはできない。子供が犯罪に手を染めるほど追い込まれてしまう前に、付き合っている友達でも、部屋の中の様子でも、ちょっとした変化に気付いてやること。これこそ、父親が果たすべき最低限の責任だと思います。

【パネリスト】

堀尾正明さん	ジヨン・ギャスライトさん

フリーアナウンサー。NHKの看板アナとして活躍。明るいキャラクターで人気を集め、08年春に独立。54歳。

米国生まれ。日本で農学博士号を取得し、コラムニストやレンタル、障害児支援など多方で活躍中。46歳。

時、直す薬は父親が探して見つけるしかないんですから。佐古田さん 私は終戦直後に日系人が集められたキャン

くん、君たちと過ごしてると、お父さんも楽しいんだよといつています。「おやじの背中」と

これからは、そんな考え方が重要になるのではないかと思っています。ギャスライトさん 父親は

親の務めです。佐古田さん みなさんは、安全だと思われていた日本で、子供の重大犯罪が増えていることをどう思いますか。学校の責任ですか。それとも地域の責任ですか。やはり、その責任から親が逃げることはできない。子供が犯罪に手を染めるほど追い込まれてしまう前に、付き合っている友達でも、部屋の中の様子でも、ちょっとした変化に気付いてやること。これこそ、父親が果たすべき最低限の責任だと思います。

大会の模様は、日経・朝日

全国に4000以上ある「おやじの会」の全国連絡組織「おやじ日本」が今年、NPO法人になったのを記念する大会「世界のおやじ、日本のおやじ」(渋谷区、読売新聞東京本社など共催)が6月7日、東京都渋谷区の渋谷C.C.Lemonホールで開かれた。「子供への思いを語り合おう」をテーマに、子育てに思い入れのある6人のパネリストたちが、約800人の参加者とともに、日本のこれから父親像について熱い議論を交わした。

NPO法人「おやじ日本」記念大会

竹花さん みなさんが育つた家庭で、父親はどんな存在でした?

堀尾さん 父は鉱山師で家にいることが少なく、しかも無口。男は多くを語るものではなくて、昔かたぎの人でも、コミュニケーションが苦手な父と子供の間で、母はいつも苦労していました。その母から、口べたな父への不満を吹き込まれ続けた反動で、アウンサーなんて職業を選ぶことになってしまったんですね。

鈴木さん 私にとっての父も反面教師の部分がある。家にいる時の父は母に文句ばかり言われ、空氣みたいに存在感がなかった。私が父からよく言われたのは、「危ないから」と「どうでもいい」と親と話をして、楽しい思い出を作りたかったという気持ちが強いですね。

ゾペティさん 育児について講演をすると、「なんで日本の父親は協力的じゃないのでしょうか」と、母親たちから尋ねられる。だから、私は

言つてやります。日本の父親をダメにしてるのは、あなたたち母親だと。母親が何でもやってあげてしまうから、家庭で何もできない父親が増えます。会場の奥さんたちも、もつとだんなさんに厳しくしくちやダメです。

竹花さん でも、個人的に「おやじの背中」という言葉に子育てに背を向けている命な姿をしつかり見ていくもの。昔の日本人が言う「子供は親の背中を見て育つ」という考え方は大切です。



活発に議論するパネリストたち

プロで、日本の文化や言葉を学びました。だから私の感覚は、今の日本人からすると古いのかもしれない。でも、古い日本人の感覚も悪くないと思う。子供たちは父親の一生涯をしっかり見て育つ」といふ考え方は大切です。

正面向いて相手しよう

竹花さん かつての日本の父親は意図して背中しか見せてこなかつたわけではなくて、あまりに仕事が忙しくて、家庭には背中しか向けられないといったということではないでしょうか。今の若い父親は子育てや家のことを少しは考えて、マシにはなっているけど、もつと家族に顔を向けた方がいいと思いますね。

ゾペティさん 「おやじの背中」という言葉には日本男性の美学があるのかもしれません。それでも、おやじの顔や

表情を子供にしつかり見せたい。筆が進まず原稿が全然書けない時や、商売がうまく行かない時はいろいろする。そんな表情も含め子供に見てもううんですが、『うう』とが一つのコミュニケーションだと考えています。

鈴木さん 子供に背中を向けて、正面は^{カミ}に向いてるのかと考えると、どうやら正面は上の世代の人に向いています。次世代の若者が背中を向いてやることを考えると、どうやら、「昔は良かった」なんかもう少し家族に顔を向けた方がいいですね。

竹花さん さて、時代に合った新しい答えを見つけたいとなればダメ。正面を見てセリフが出るんですよ。未來のことを考へるには、時代次世代に向けてこそ、未来が見えるはずです。

【コーディネーター】



竹花豊さん



ジミー佐古田さん

「おやじ日本」理事長。元東京都副知事、警察庁生活安全局長。退官後はパナソニックの役員。現・東京都教育委員。60歳。

竹花さん 私にとっての父も反面教師の部分がある。家にいる時の父は母に文句ばかり言われ、空氣みたいに存在感がなかった。私が父からよく言われたのは、「危ないから」と「どうでもいい」と親と話をして、楽しい思い出を作りたかったという気持ちが強いですね。

鈴木さん う家族を作りたいのかプランをしっかりと持つて、粘り強く実現させることができることが父親の大切な仕事。その点、日本の父親たちは、とにかくあきらめが許されるわけがないですよ。

竹花さん 家庭の中で、父親が子供に対し果たすべき最低限の責任とはどんなものでしょうか。

堀尾さん 社会で生きる力をつけてやることや、巣立ちの手助けをすることが最もうろこであります。

読売よみくらべサイト「あらたにす」(<http://allatany.s.jp>)にも掲載しています。

呉念聖さん

中国生まれ。早稲田大学客員研究員。日中の文学、文化を比較研究する一方、「子育てにも自信あり」。60歳。



パネル討論では、外国人の参加者たちも活躍に意見を述べた
「おやじ」討論
「おやじ」の会の全国連絡組織「おやじ日本」が7日、東京都内でNPO法人化の記念大会を開催、約800人の来場者が父親の子育て参加などについて考えた。
「世界のおやじ」日本本で活躍する農学博士ジヨン・ギャスライトさん(46)は、米国生まれで現在は日本で活躍する父親の子育ての来場者が父の子育て参加などについて考えた。

一方「日本の父親をどう思ふか」との質問には、「コミュニケーションがへた」と日本本人の参加者が相次ぎ、日本で手厳しい意見があつた。一方「日本の父親をどう思ふか」との質問には、「コミュニケーションがへた」と日本本人の参加者が相次ぎ、日本で手厳しい意見があつた。

パネル討論も実施。ギャスライトさんは、「子供を怒る時も、最後には心の底から君を愛してると伝える」「パパとママが愛し合っていることを見せながら子育てすることが大切」など、欧米人ならではの「子育て論」を紹介した。

「おやじ」討論
「おやじ」の会の全国連絡組織「おやじ日本」が7日、東京都内でNPO法人化の記念大会を開催、約800人の来場者が父親の子育て参加などについて考えた。
「世界のおやじ」日本本で活躍する農学博士ジヨン・ギャスライトさん(46)

子育て巡って 「おやじ」討論

パネル討論も実施。ギャスライトさんは、「子供を怒る時も、最後には心の底から君を愛してると伝える」「パパとママが愛し合っていることを見せながら子育てすることが大切」など、欧米人ならではの「子育て論」を紹介した。

「おやじ」討論
「おやじ」の会の全国連絡組織「おやじ日本」が7日、東京都内でNPO法人化の記念大会を開催、約800人の来場者が父親の子育て参加などについて考えた。
「世界のおやじ」日本本で活躍する農学博士ジヨン・ギャスライトさん(46)

読書の秋



子どもと共に楽しみませんか

『15歳のための

グローバリゼーション

新しい地図を持って歩き出そう』

マップセレクション

監修： 正井泰夫

編集： Earth Atlas 編集委員会

出版社：幻冬舎

地域から他の国々へ、さらには世界へと開かれた視点を持ち続けることが、これからますます必要となるでしょう。

・・・15歳希望の旅立ち

いま世界とどのように向き合うか—。

(序章より抜粋)

Earth Atlas 編集委員会 森 倫太郎

記念大会で配布したプログラム



設立5年を経てNPO法人に 特定非営利活動法人おやじ日本 設立記念大会

世界のおやじ、日本のおやじ。 ～語ろうじやないか。子どもへの思い～

今多くの父親が子どもたちの育成に従来以上に取組むようになっていることを実感しています。おやじ日本では、今年法人設立を記念して、「おやじ日本NPO法人設立記念大会」を開催することにしました。今回のテーマは「世界のおやじ、日本のおやじ」と題して、おやじのあり方をグローバルに考え直すといふのです。家庭のあり方、家族のあり方などをともに考え合い、誠しい時代を担う子どもたちを育てるためのおやじの役割を問い合わせします。

おやじの思いが子どもたちに届くことを願い、本大会を開催いたします。

平成21年6月7日(日)
愛河 12:30~/開会 13:30
渋谷 C.C.Lemon ホール

特定非営利活動法人おやじ日本 <http://oyaji-nippon.org/>
東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉社会館2階
電話&FAX: 03-3462-7113

SPECIAL THANKS

共 催：渋谷区 江戸新聞東京本社 全国読売防衛協力会
後 援：NPO法人渋谷駅周辺地区まちづくり協議会 東京都警察庁 横浜市厚生労働省
(社)全国少年警察ボランティア協会 全国公立幼稚園園長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等小学校長会
(社)日本PTA 全国協議会 (社)全国高等学校PTA連合会 (社)日本青年会議所
(財)マルチメディア振興センター NPO法人日本バーディン・エンジニアズ
ネット社会子どもたち協議会 NPO法人ユースサポートセンター友想塾
NPO法人日本を愛しくする会 東京都公立高等小学校PTA連合会
賛 賛：(株)NKSデータ 大江戸ダンスNPO法人 大塚製薬株式会社
協 力：広島市おやじの会連絡会 大江戸ダンスNPO法人 おやじ日本山形 おやじ日本しづか
おやじ広島会 おやじ神奈川 千葉県内おやじネットワーク
おやじ埼玉ネットワーク 三重市公立学校おやじの会連絡会 (略不詳)

竹花 豊 大勢の皆さま
大会会長 ありがとうございました。

NPO法人おやじ日本理事長

木下 2月 は人々が守りし特許非営利活動法

人やおやじが誕生。本当にうれしい記念大

会開催することができました。

これもひとえにみんなおやじでいる多く

の個人、団体の皆さまのお陰で、深く感謝いたし

てお掛けます。

これを機に、全国のおやじの会をはじめとい

うな団体の方々とも交流してネットワークを広げ、さ

らなる活動の盛りを詰めることをここに決意し、幸

か一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

実行委員会メンバー

委員長 二村 好彦 副委員長 池野 一成
副委員長 伊藤 一吉 副委員長 坂田 雄介
委員 浅沼 仁 委員 渡野 伸洋 委員 阿部 優一 委員 阿部 梢子
委員 伊深 公也 委員 石川 九子 委員 石橋 崑祐 委員 石崎 見
委員 上田 和也 委員 片山 淳 委員 加藤多治生 委員 斎池 斜子
委員 北川 邦輔 委員 工藤あや子 委員 関田 駿 委員 小池 英仁
委員 厚東 克巳 委員 小山 洋子 委員 齋江 茜 委員 稲原 豊
委員 関根 行志 委員 田中 伸也 委員 日向 典政 委員 辻本 亂郎
委員 寺田和義子 委員 水野 伸一 委員 中山 伸一 委員 斎富 喬助
委員 佐々木 邦夫 委員 佐野 一郎 委員 佐野 伸一 委員 高橋 仁枝
委員 佐野 一郎 委員 朝田 駿 委員 朝田 駿 委員 丸山 早子
委員 朝田 孝明 委員 鹿島 さと之 委員 渡辺 実治 委員 鹿原 邦子
委員 渡辺 隆子 ☆プログラム監修 坂田加江 ☆デザイン 片山 浩

大勢の皆さま
ありがとうございました。

父兄よ、
子どものつぶやきに
耳を傾けよう。
子どもがいる
学校へ出かけよう。
子どもが育つ地域へ、
もっと足を運ぼう。
不容易でも、
口べたでも、
子どもに思いを伝えよう。
そして、子どもとともに
楽しもう。

やれることは
たくさんある。

家庭だけでなく地域の
「おやじ」になろう。

地域の「おやじ」たちと
手をつなごう。

おやじ出番だ！

おやじ日本山形

→→ おやじ日本山形代表の和田英光さんからの報告です

ニュースレターNO5の「広がれ！おやじネットワーク」で紹介した「おやじ日本山形」は、4月11日の立ち上げ以降、活発な活動を始めました。隔月で例会を行っています。6月の例会ではおやじ日本・小山理事が、おやじ日本事務局長の立場で「今、求められている父親とは」をテーマに1時間の講演を行いました。



「今、求められているのは豊かな想像力と創り上げていく力、そして実行力」と語る小山事務局長



↑ 全員起立で「おやじの契り」の唱和



↑ グループに分かれて意見交換(ワンコインコーナー)お酒が入るとリラックスして、本音のトークが展開されます

おやじ日本山形の例会 は、

- ・ゲストスピーカーによる1時間のスピーチ
- ・現場の経験が豊富な先生によるスピーチ
- ・ワンコインでの「おやじ達の本音」
- ・最後に「おやじの契り」の唱和

という形で行われています。特に特徴的なのは、「おやじ達の本音」という名称の懇親会。おやじの会にはつきものの「飲み会」が有効に機能しています。飲めない人のためにはノンアルコール飲料も用意されているそうです。又、最後の「おやじの契り」で唱和されるのは、おやじ日本紹介パンフレット・表紙に掲載されている「おやじ宣言」です。

～ 広がれ！おやじネットワーク ～

「おやじ木更津」

おやじ木更津代表 西村 喬（たかし）



「おやじ木更津」は2006年6月に発足した。それ以前にも木更津市内の各地でPTAを基盤しながら、父親たちが男手でなければできないような環境整備などを受け持ち、併せて、子育てについて意見交換を活発にしていたが、2003年7月にいわゆる「おやじの会」活動の情報交換や勉強会の場として「おやじフォーラム」という集まりを開いた。

以来、「飲み会」も交えながら、年2回のペースで、情報交換会を開いてきた。

2006年に、もう少し組織的な活動をということで「おやじ木更津」が発足したものである。

「おやじ木更津」は活動主体というより、市内のおやじの会（類似団体も含む）の情報交換・勉強の場と位置づけられる。年2回程の交流集会を開き、第1部が勉強、第2部が懇親・情報交換というスタイルで実施している。

今年度の交流集会は去る6月27日（土）17:30からの開催。これまでほどちらかといえば男子中心の会合であったが、今回は「母親が願う父親の役割」というテーマで、二人のお母さんをパネラーとしてパネルディスカッションを行った。コーディネーターは西村がつとめ、一人はベテランのお母さん、一人は小学生のお子さんのいる子育て中のお母さんに登場していただいた。

○子どもが幼い時から、父親の働いている所へ連れて行って、親の働く姿をみせた。

○家事などは「やれる人がやれることをする」というルールで夫婦間で協働している。

○子育ては夫婦間のコミュニケーションに支えられる。

など、参加者も交えて、活発な討論があった。

「おやじの会」は、母親の支えがあつて本物になると実感した。

全国各地で、おやじの会の活動が広がっています。
おやじ日本では、全国のおやじの会とその事業を支援しています



第3回 愛知おやじサミット in 豊橋

「子どもに見せよう、おやじの背中」：おやじの背中はかっこいい？
平成22年1月30日(土)午後1時30分開会 豊橋市公会堂

第1部 基調講演 特定非営利活動法人おやじ日本 理事長 竹花 豊

第2部 パネルディスカッション 「子どもに見せたいおやじの背中とは？」

パネリスト：竹花豊（特定非営利法人おやじ日本 理事長）

廣中邦充（浄土宗西居院 住職）

神野佐和子（非営利活動法人 Kids&Mama NPO ねこのて理事長）

中西功帶（愛知おやじの会 会長）

コーディネーター：坂 敏也（愛知おやじの会 副会長）

第3部：活動報告 愛知県で地道に活躍するおやじの会の紹介

定員400名
参加申込みは
11月頃から
開始します！

第3回愛知おやじサミット in 豊橋にむけて

南部南陽ロックおやじの会 渡辺 嘉郎

愛知おやじの会連絡協議会は平成19年1月に、愛知のおやじの会の先駆者である小坂井おやじの会会長の中西功帶の呼びかけで発足致しました。約30のおやじの会により活動を行っています。第1回のサミットは吉良町(吉良上野介で有名)で行い、第2回サミットは江南市で行いました。まだ愛知おやじの会の知名度は低く、愛知県下には160以上のおやじの会があるのですがサミットへの参加がなかなか増えないのが現状です。参加を増やす事が現在の我々の最も大きな課題と考えています。

第3回愛知おやじサミット in 豊橋は、平成22年1月30日(土)、午後1時30分より豊橋市公会堂で行います。基調講演は、おやじ日本の竹花理事長にお願いしています。竹花さんの心に響くお話を愛知の多くのおやじたちに聞いていただきたいと思っています。また、パネルディスカッションとして「子どもに見せるおやじの背中」を予定しています。これからのおやじのあり方についてみなさんで議論を深めたいと考えています。

全国のおやじさんたちと交流する事は大変重要です。私はおやじ日本の神奈川県大会より参加させていただいています。おやじ日本のすばらしい方々のお話を聞く事が出来、また、毎回多くのすばらしい方々と出会う事が出来、おやじ日本と係らせていただく事のすばらしさを実感しています。世の中にはすばらしい方が沢山いて多くのすばらしい活動をしています。それを知るだけでも心に灯がともります。その思いを愛知の多くのおやじに実感してほしいと思っています。

多くの皆さん之力をいただきながら愛知おやじサミットを成功させ、多くのおやじさんたちを集め、有意義な議論を行い、子どもたちのために愛知におやじの輪を広げたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



平成21年
11月22日(日)・23日(祝)
大分市コンパルホール
大分市立西の台小学校

全国おやじサミットは、2003年に香川で開催されたのを皮切りに、その後、三重、京都、鳥取、広島、富山で開催され、今年度、第7回大会は、大分で開催されることになりました。現在、実行委員会が内容について検討を重ねているところです。

第1日目

【シンポジウム】おやじ達どうする！？～子どもからのメッセージ～

【アトラクション】パワーシティオオイタによるローカルヒーローショー

【分科会】

第2日目

平成21年11月23日(祝) 大分市立西の台小学校

「世界一うけてもらいたいおやじの授業」

○○● 83運動、全国展開へ！ ●○○

「83」を全戸に！ 網干おやじ塾事務局 黒田 賢治
～兵庫県姫路市「網干おやじ塾」の取り組み～

兵庫県の南西部、姫路市に私たち網干おやじ塾が活動している「網干（あぼし）」という街があります。

こちらには一つの中学校と二つの小学校があり、従前より中学校では、朝の「あいさつ運動」というものが校門で行われ、また、小学校においては交通当番に加え、不審者対策の一環として「スクールヘルパー」という形で、保護者をはじめ地域の方々が、昼間の校内にボランティアで常駐するなど、それぞれにPTAも活発に活動しており、また、これと平行して網干中学校地域愛護育成会という組織が、この1中2小に一つの高校、さらには自治会等の各種団体や市の少年補導委員等々を加えた広範な形で子供の安全・安心についての取り組みを行っています。

しかしながら、もっともっと地域住民全体でこの課題に取り組んでいくことの必要性を感じ、以前より承知しておりました「おやじ日本」が提唱されているこの『83運動』を何とか自分たちの街でも取り組みたいということで、昨年度にこの愛護育成会で提案したところ全会一致で承認され、加えて「おやじ日本」には、同デザインの下部に私達の賛同文書を加えて活用させていただくことのご了解をいただき、実現の運びとなったところです。

みんなに受け入れられた理由としては、デザインがかわいいからとも勿論ですが、全国に広がっていく可能性があるこの運動を取り入れ、やがてはお隣りの街も、校区も、お隣りの市もという広がりが期待できるところで、それが個別のことを提起して実施していくことも大切ですが、こういった一つの運動の意識のつながりが、不審者を押さえ込む大きな力になると期待できるからです。

当初、要所でのポスター掲示という提案でしたが、「やるからには全戸配布！」という力強い意見で修正され、この春全ての家庭に『83』を配置することができました。

意識付け、そして具体的な動き出し…ということで大切なのはこれからです。

これからもこの街にいっぱい『83』が増えていくことを期待して、取り組みを継続させていきたいものです。

通学路にハチさんをふやそう。



ハチさん
83運動

すべての大人が子どもたちを見守ろう

おやじ日本

網干中学校区地域愛護育成会は、おやじ日本の「83運動」に賛同し、
地域の皆様の御理解と御協力をお願いしています。

ポスターの下に団体名やアピールを入れて、団体オリジナルのポスターを作ることが出来ます。
ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。

あんしんもケータイさせよう

○○● iS (アイエス) 運動は、新しい展開へ！ ○○●

おやじ日本 iS 運動担当理事 伊沢公晴

これまで iS 運動として子どもにおけるインターネットに潜む危険性、そして携帯電話の使用における危険性を、大人（おやじ）として社会に訴え、理解していただくことを目的に活動してまいりました。現在携帯キャリア各社もその社会的問題をずいぶんと理解し積極的に『安全な使用法』及び『セキュリティーの徹底』に頑張っているように見受けられます。

携帯電話の危険性『ケータイ問題』の社会的認知が上がってきた今、おやじ日本(iS 運動)としては、新たな問題を提起し、取り組むべきだと云う事となりました。それは『ネットワークゲーム問題』。実はこのネットワークゲーム(以降ネトゲ)にはさまざまな問題が含まれております。細かな問題は多々ありますが、一番は、その強い中毒性の為、青少年の生活が破壊されることにあると思っています。それが犯罪や家庭崩壊のきっかけになっている例も出始めているのです。(お隣韓国では死者も出了ました)

まだ詳しく発表する段階ではありませんが、おやじ日本としてこの『ネットワーク問題』に取り組み、微力ながらも子どもたちの健やかな成長の力になれるよう頑張りたいと思っております。



インターネット安全運動
iS 運動

ケータイ・インターネットの落とし穴から子どもたちを守るために。
大人はその危険性をよく知り、子どもとよく話し、そしてともに手をつないで一汗かこう。それが iS (アイエス) 運動のマインドです。

おやじ日本
<http://oaji-nippon.org>

◆◆ 活動報告 ◆◆

☆平成 21 年度理事会

第1回定例理事会 5月30日(土)

平成 20 年度事業報告・決算 理事・理事長選出

理事役務分担 財政検討委員会設置

事務局パートタイマー採用 他

第2回定例理事会 6月27日(土)

総会議案 事務局 記念大会実行委員会解散 他

☆平成 21 年度通常総会 6月27日(土)

報告事項: 平成 21 年度事業・予算・理事・理事長選出

法人設立記念大会事業・決算 財政検討委員会設置

審議事項: 平成 20 年度事業報告・収支決算・監査報告 監事選出

☆運営委員会

4月度運営委員会 4月22日(水)

記念大会 記念誌 協賛広告 ネットワーク化 活動保険

各地のおやじの会 他

5月度運営委員会 5月30日(土)

理事会報告 記念大会 記念誌 協賛広告 配布資料

プログラム 動員 各地のおやじの会 他

6月度運営委員会 6月27日(土)

おやじ日本山形 おやじ埼玉ネットワーク 今後の活動 他

7月度運営委員会 7月22日(水)

パナソニック NPO ファンド応募 平成 21 年度事業及び活動

計画 全国おやじサミットイン大分 他団体連携 他

8月度運営委員会 8月11日(火)

パナソニック NPO ファンド応募 財政検討

平成 22 年度及び 23 年度全国大会 e-ネットキャラバン

平成 21 年度事業及び活動計画 新メーリングリスト整備

ニュースレター 6 号発行に向けて 各地のおやじの会 他

☆記念大会及び実行委員会

4月22日(水) 5月30日(土) 6月7日(日)

◆◆ 今後の予定 ◆◆

ネットワーク推進打ち合わせ会 9月17日(木)午後6時～

9月度運営委員会 9月26日(土)午後1時～

事務局からのお知らせ

☆記念誌発行に際しましては、たくさんの協賛広告をいただき、ありがとうございました。記念誌を活動に利用されたい場合は、郵送の手配をいたしますので、事務局へご連絡下さい。

★83運動、アイエス運動などを各地域で実施されている方は、ぜひご連絡下さい。ニュースレター等で紹介させていただきます。

☆おやじ日本では、引き続き、正会員・登録会員・賛助会員を募集中です。申込みは事務局までお願いします。

特定非営利活動法人おやじ日本 平成 21 年度の体制

理事・監事

理事長	竹花 豊	
副理事長	二村 好彦	伊東 一吉
常務理事	小山 洋子	
理事	浅沼 仁	淺野 悅洋
	伊沢 公晴	石綿 晃
	上田 和俊	片山 潮
	小池 英仁	更江 篤
	篠原 豊	森田 孝明
	渡部 徹	和田 英光
		(以上 理事16名)
監事	納富 善朗	北川 邦弘
顧問	星野 仙一	山口 良治
	廣中 邦充	井内 清満

正会員(理事・監事・顧問を除く)

阿部敏彦	阿部桃子	池野一成
石川礼子	石原正康	石橋昌祐
市村 智	伊藤久生	大和田ナオ子
奥谷泰史	長村和典	小田啓二
小野 真	加藤多津生	加藤浩康
菊池順子	北 貞丈	工藤あや子
栗田 勤	黒沼範子	小池幸子
厚東克己	関根行雄	田中秀樹
谷口政典	坪田知広	辻本篤郎
富田浩志	中井 滋	中山美子
永井正直	西野和広	西村 堯
布村幸彦	野田勝憲	野田和喜子
橋本壽夫	橋本英樹	馬場成一
濱島健祐	藤井武志	藤田三枝
前田純一	前田充紀	前田義昭
松岡裕子	三浦隆子	三宅年行
脇山幸之	渡井勝成	渡辺英治
渡辺靖子	渡辺嘉郎	(五十音順 53名)

【発行】 特定非営利活動法人おやじ日本

住所 〒150-0041 渋谷区神南1丁目19番8号 渋谷区立勤労福祉会館2階

電話&ファクス 03-3462-7113

ホームページ <http://oyaji-nippon.org/>

会員用ブログ <http://blog.goo.ne.jp/oyaji-deban>

事務局担当理事 小山 洋子 desk@oyaji-nippon.org

編集担当 寺田 真理子

ここに記載の内容は全て無断転載を禁じます

